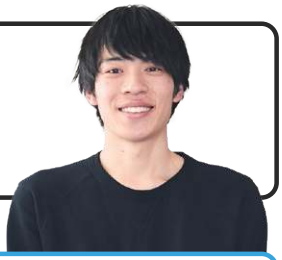
MEIJO Q&A

理工学部 機械工学科

Q ロボットが活躍する未来って ほんとうにやってくるの？



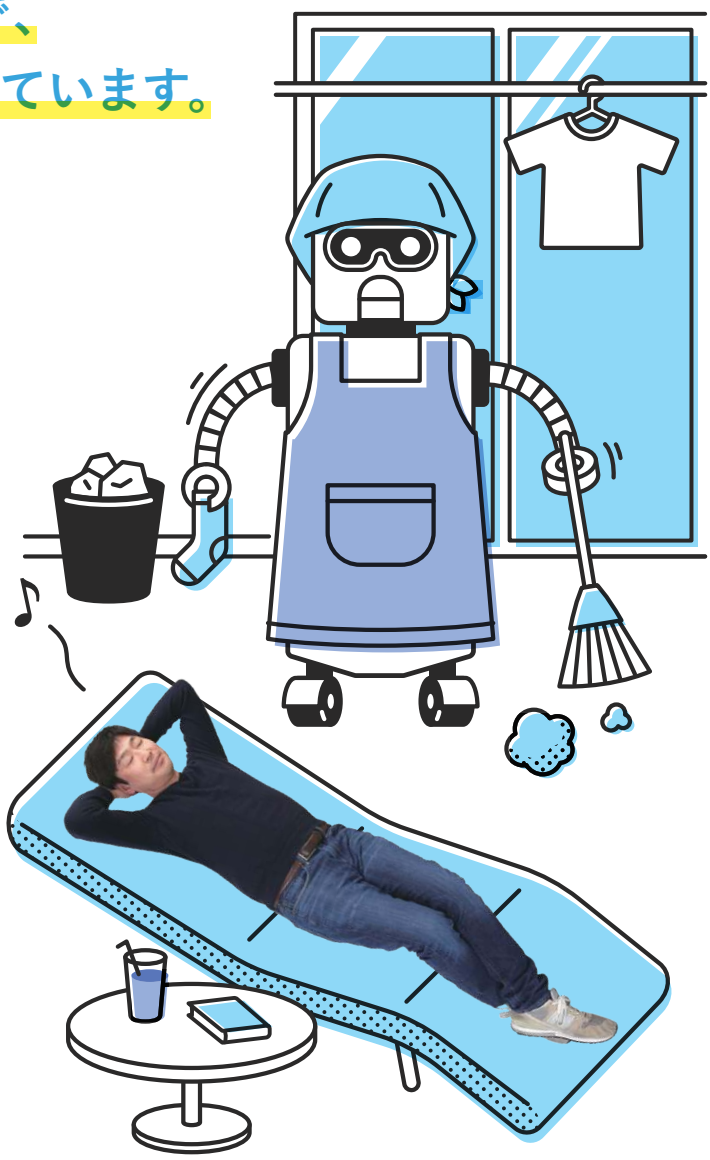
すでにさまざまな分野で、ロボットが活躍しはじめています。

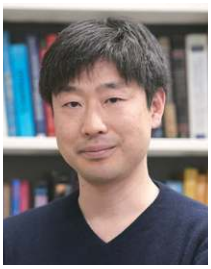
身近な存在になりつつあるロボット。

近年、AI（人工知能）やロボット技術が世界的に注目されており、さまざまな分野で実用化に向けた研究・開発が行われています。たとえば、生活支援の分野では、Preferred Networksによる、トヨタ自動車株式会社が開発するロボット「HSR（Human Support Robot）」を使った部屋の全自動片付けのデモンストレーションが話題となりました。また、医療分野では胃がんなどの内視鏡手術を遠隔操作で行うことができるロボットが開発され、多くの病院で利用されてきています。物流分野ではAmazonが、ロボットによる倉庫管理の自動化を進めるなど、ロボットは私たちの身近な存在になりはじめています。

ロボット開発には たくさんの感動や興奮がある。

ロボットの動きをどのように作り出すかは、機械工学の中の「知能ロボットの運動制御」と呼ばれる分野になります。私は、そのなかでも人や生物のようにダイナミックでなめらかな動きをロボットでどうやって実現させるかや、人の動作や作業を支援するロボットについて研究しています。研究で試行錯誤しながら作ったりプログラミングしたロボットが、自分の思うように動いたときには何ものにも代えがたい感動がありますね。学生時代に研究していた枝渡りロボットが、初めて枝をつかんだ瞬間の興奮は今でも覚えています。この業界はこれから大いに発展していく世界。自分たちが未来を作っていくような楽しさがあります。学生のみなさんには広く深く学びを楽しんでもらい、「枠組みにとらわれない尖った人材」になってほしいと思っています。





中西 淳 先生

Jun Nakanishi

修士課程中にアメリカのミシガン大学へ留学し、制御システム工学を学びました。そこでロボットの可能性を感じ、研究を続けたいと思いこの世界に。「粘り強く、深く考える」をモットーに研究に励んでいます。

私の宝物

留学時代の授業・研究で使ったたくさんのノート。

アメリカに留学したとき、必死になって勉強していた思い出のノートです。20年以上経った今でも捨てられずにいますね。ノートを見るたびに、研究に粘り強く取り組むことの大切さを思い出します。